

- 問1 山口県には、西国の大名であった大内氏がある人物に命じて造らせたと伝えられる名園が残されています。この庭園の築造に携わり、当時の文化において大きな影響を与えた人物に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 「わび茶」の作法を確立し、茶の湯を広めた。 2. 東大寺南大門にある力強い金剛力士像を制作した。 3. 「唐獅子図屏風」などの豪華で華麗な桃山文化の絵画を多く残した。 4. 墨の濃淡によって遠近感や立体感を表現する水墨画を大成させた。
- 問2 室町幕府が衰退した後の十六世紀末から十七世紀にかけて、金箔を多用した「風神雷神図屏風」に代表されるような豪華な文化が育まりました。この作品の作者とされる俵屋宗達が活躍した時期の、歴史上の出来事として適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 足利尊氏による建武の新政への反旗 2. 平清盛による日宋貿易の推進 3. 源頼朝による守護・地頭の設置 4. 織田信長による安土城の築造
- 問3 室町時代の外交において、三代將軍の足利義満が明の皇帝に対してとった外交姿勢とその後の貿易の形式について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 元寇による対立関係を解消するため、大量の銀を無償で献上する形式をとった 2. 対等な立場での国交を求め、書状の中で「日出づる処の天子」と名乗った 3. 貿易の利益を独占するため、明の皇帝からの日本国王という称号を拒絶した 4. 明の皇帝に対して臣下の礼を取り、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ
- 問4 琉球王国の首里城正殿に掲げられていた「万国の津梁」の鐘の銘文には、自国を「船を操り、万国の架け橋となって貿易を行う国である」という趣旨の内容が記されています。当時の琉球王国が、中国、日本、東南アジアとの間で行っていた貿易の実態を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 江戸幕府から許可状を与えられた船を用いて、東南アジアへ銀を輸出した。 2. 日本と中国の間の国交が断絶していたため、武力を用いて貿易ルートを独占した。 3. 各地の産物である刀剣、陶磁器、染料などを別の地域へ転売して利益を得た。 4. キリスト教の布教を目的としたヨーロッパの国々と、火縄銃を中心とした取引を行った。
- 問5 室町文化における伝統芸能の形成について、観阿弥・世阿弥が果たした役割やその背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 出雲の阿国とともに、庶民の風俗を反映した歌舞伎の原型を創始した。 2. 幕府の保護を受け、それまでの芸能を芸術性の高い能として完成させた。 3. 武家の住居様式として、畳を敷き詰め明かり障子を用いた書院造を考案した。 4. 禅宗の精神を重んじ、簡素な美しさを追求するわび茶の作法を確立した。
- 問6 室町幕府の第3代將軍である足利義満が、朝貢という形で明との貿易（日明貿易）を行い、そこで得た豊かな経済力を背景に保護・奨励した出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 雪舟を明へ渡航させ、水墨画の技法を学ばせた 2. 出雲の阿国という女性を保護し、歌舞伎の原型を作らせた 3. 千利休に茶室を造らせ、わび茶を完成させた 4. 観阿弥・世阿弥の親子を重用し、能を大成させた
- 問7 後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、1338年に光明天皇から征夷大將軍に任命されて、京都に武家政権である室町幕府を開いた人物は誰ですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 足利尊氏 2. 足利義満 3. 足利義政 4. 源頼朝
- 問8 足利義政が推進した東山文化の特色や、その後の日本人の生活に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 天平時代の力強い建築様式を模範とし、唐招提寺金堂に見られるような国際色豊かな芸術が好まれた。 2. 禅宗の精神を取り入れた「わび・さび」を重んじ、畳や障子を用いた書院造という住宅形式が生まれた。 3. 金箔を多用した豪華な建築が特徴であり、大陸との貿易による富を背景にした公家文化が融合している。 4. 西欧の技術を取り入れた城郭建築が発達し、ふすま絵などの華やかで壮大な芸術が武士の間で流行した。
- 問9 室町時代に起きた正長の土一揆において、各地の情報を伝えたり、組織的な行動を先導したりすることで重要な役割を果たした、馬を利用して荷物を運ぶ専門の運送業者を何といいますか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 馬借 2. 株仲間 3. 問丸 4. 関所
- 問10 室町時代、農民たちが有力者を中心に「惣」と呼ばれる共同体を形成した際、村の運営に関する重要な意思決定を行うために開かれた会議を何と呼びますか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 寄合 2. 問 3. 座 4. 馬借
- 問11 室町時代には商品の流通が盛んになり、各地を結ぶ陸上の交通が発達しました。この時期に、馬を利用して荷物の運搬を専門に行った運送業者のことを何と呼びますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 土倉 2. 問丸 3. 株仲間 4. 馬借
- 問12 応仁の乱当時の將軍である足利義政は、京都の東山に慈照寺（銀閣）を建立しました。この時期に栄えた、質素で幽玄な美意識を特徴とする文化の名称と、銀閣に見られる現代の和室の原型となった建築様式の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
1. 天平文化 一 校倉造 2. 元禄文化 一 蔵造 3. 東山文化 一 書院造 4. 北山文化 一 寝殿造
- 問13 鎌倉幕府が滅亡した後の略年表において、鎌倉時代から室町時代へと移り変わる中間に位置する短期間に行われた、後醍醐天皇を中心とする天皇による直接の政治を何と呼びますか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 延元の乱 2. 建武の新政 3. 承久の乱 4. 観応の擾乱
- 問14 奈良県にある柳生徳政碑文と呼ばれる石碑には、「正長元年より以前の負債はこの地域（四箇郷）において一切なくなる」という趣旨の内容が刻まれています。この石碑が作られる背景となった「正長の土一揆」について、その性質を説明した文として適切なものはどれか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 室町幕府が農民を救済するために自ら徳政令を發布し、それを記念して石碑を建立させた。 2. 農民たちが惣などの自治組織を通じて団結し、実力行使によって借金 の破棄を実現させた。 3. 飢饉による苦しみを訴えるため、農民たちが領主に対して年貢を半分 に減らすよう嘆願した。 4. 有力な守護大名が自らの領国を支配するために、独自の法律として負債の禁止を定めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 墨の濃淡によって遠近感や立体感を表現する水墨画を大成させた。	大内氏は山口を「西の京」と呼ばれるほど文化的な都市に発展させ、そこで活躍したのが雪舟です。雪舟は絵師として有名ですが、山口にある常栄寺などの庭園築造にも関わったとされています。彼が完成させた水墨画は、簡素ながらも奥深い精神性を尊ぶ室町時代の文化を象徴する芸術の一つです。
問2	答え 4 織田信長による安土城の築造	「風神雷神図屏風」が描かれた安土桃山時代から江戸時代初期にかけては、織田信長や豊臣秀吉による天下統一が進められた時期です。信長は統一事業の拠点として壮麗な安土城を築いており、この時代の新興の大名や豪商の勢いを反映した、豪華で力強い文化（桃山文化）が発展しました。
問3	答え 4 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ	足利義満は、巨大な帝国である明との貿易から得られる利益を幕府の財政基盤とするため、プライドよりも実利を優先しました。彼は明の皇帝に対して家臣としての立場（日本国王）を認め、貢ぎ物を送る「朝貢」という形式をとることで、公式な国際関係を築きました。
問4	答え 3 各地の産物である刀剣、陶磁器、染料などを別の地域へ転売して利益を得た。	琉球王国は「万国の津梁（世界の架け橋）」として、各国の「産物」を仲介する役割を担いました。中国からは陶磁器や絹織物、日本からは刀剣、東南アジアからは染料などを仕入れ、これらを他の地域へ売ることによって「宝物」を集め、繁栄を築きました。幕府の許可を得て行う朱印船貿易や、キリスト教を伴う南蛮貿易とは異なる形態です。
問5	答え 2 幕府の保護を受け、それまでの芸能を芸術性の高い能として完成させた。	能は、観阿弥・世阿弥が幕府（足利将軍家）のバックアップを受けることで、単なる見せ物から高い芸術性を持つ文化へと進化しました。「わび茶」や「書院造」は同じ室町時代の文化ですが、能とは異なる背景や特徴を持つものです。また、歌舞伎は江戸時代初期に流行したものであり、時代背景が異なります。
問6	答え 4 観阿弥・世阿弥の親子を重用し、能を大成させた	足利義満は日明貿易（勘合貿易）を独占することで莫大な富を築き、その財力を背景に北山文化と呼ばれる華やかな文化を支えました。義満は観阿弥・世阿弥という優れた才能を持つ親子を保護し、伝統芸能である能を完成させる大きな役割を果たしました。出雲の阿国や千利休は、時代が異なる（安土桃山時代など）人物です。
問7	答え 1 足利尊氏	鎌倉幕府を滅ぼす際に貢献しましたが、その後の後醍醐天皇による公家を重視した政治に武士たちが不満を抱いたため、それらの武士をまとめて独自の政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問8	答え 2 禅宗の精神を取り入れた「わび・さび」を重んじ、畳や障子を用いた書院造という住宅形式が生まれた。	第八代将軍の足利義政は、応仁の乱後の荒廃した社会の中で、内面的な美しさを追求する文化を支持しました。慈照寺銀閣の東求堂にある同仁斎（どうじんさい）という部屋は、畳を敷き詰め、棚や机（付書院）を備えた書院造の代表例であり、現代の和室の原型となりました。
問9	答え 1 馬借	馬借は交通の要所に集まり、馬を使って物資を運搬する業者でした。彼らは仕事を通じて広い範囲のネットワークや情報を持っていたため、一揆の際にも民衆をまとめ上げ、大規模な行動を起こすための原動力となりました。
問10	答え 1 寄合	室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自律的に組織した共同体が惣村です。この惣村の最高意思決定機関が「寄合」であり、ここでは村独自のルールである「掟（惣掟）」の制定、灌漑用水の管理、領主への年貢交渉などが話し合われました。「座」は商工業者の同業者組織であり、惣村の自治とは異なる概念です。
問11	答え 4 馬借	室町時代には定期市の回数が増えるなど経済が活性化し、物資を運ぶ必要性が高まりました。馬借は馬を所有して荷物を運ぶ業者で、主に近畿地方の港町や交通の要所に集まり、物流の主役となりました。土倉は質屋を営む金融業者、問丸は港湾での運送や宿泊を担った業者、株仲間が江戸時代に結成された商工業者の同業者組織です。
問12	答え 3 東山文化 — 書院造	足利義政が京都の東山に築いた山荘（慈照寺）を中心に栄えた文化を東山文化と呼びます。3代将軍足利義満の時代の華やかな北山文化に対し、禅宗の影響を受けた質素で落ち着いた雰囲気の特徴です。銀閣の同仁斎などに代表される「書院造」は、畳敷きや障子、床の間を備えた様式で、現代の日本住宅（和室）のルーツとなっています。
問13	答え 2 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇が、1333年から開始した天皇親政です。幕府や摂政・関白を置かず、天皇に権力を集中させる理想を掲げましたが、現実の社会情勢との乖離から武士の不満を招き、わずか数年で足利尊氏らによって崩壊させられました。
問14	答え 2 農民たちが惣などの自治組織を通じて団結し、実力行使によって借金の破棄を実現させた。	正長の土一揆は、幕府が徳政令を出す前に、農民たちが自らの実力で借金を無効化したことが特徴です。柳生徳政碑文は、その地域で負債がなくなったことを農民たちが自ら記録したものであり、当時の農民が「惣」などの組織を通じて強く団結していたことを示しています。幕府がこの時に徳政令を出したわけではなく、あくまで農民側の実力行使による結果である点が重要です。